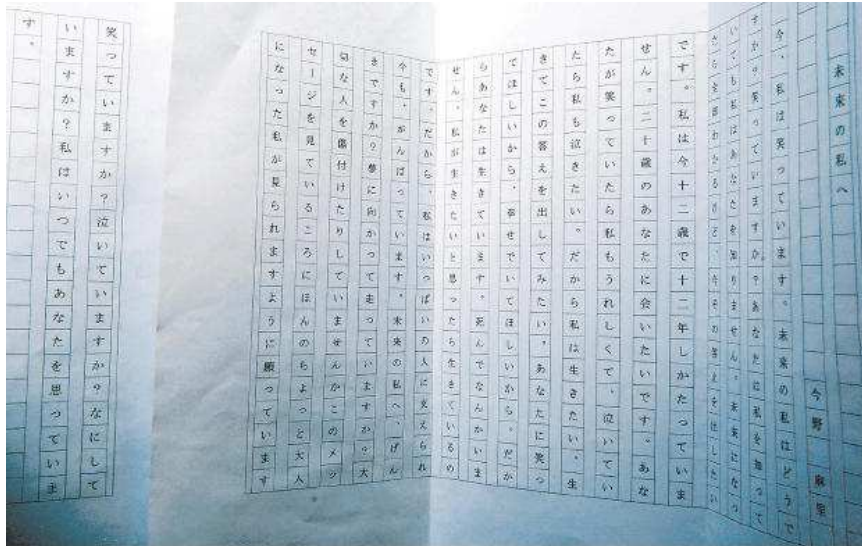


宮城 社会 3.11大震災

<もう一度会いたい> 拝啓、未来の私へ

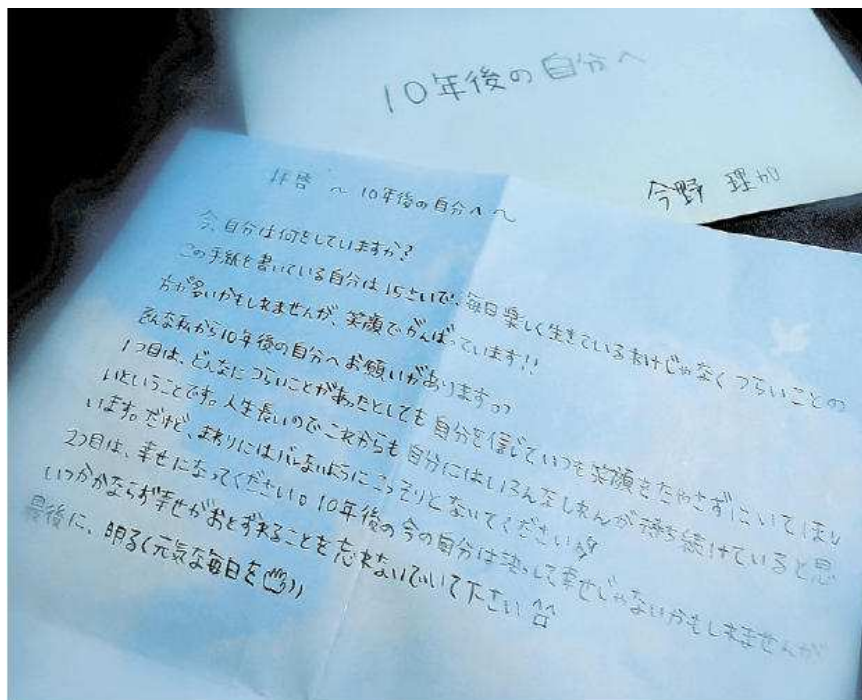
東日本大震災で亡くなった宮城県石巻市の今野麻里さん=当時（18）=、理加さん=同（16）=、大輔君=同（12）=の3きょうだいが生前「将来の自分」に宛てた手紙が残っていた。

（報道部・伊藤寿行）



【今野麻里さんの手紙】母の今野ひとみさん「担任の先生のパソコンに入っていました。人生に前向きで、若くして死ぬことなどこれっぽっちも想像していません。私もいつまでもよくよしていられないです」

拡大写真



【今野理加さんの手紙】母の今野ひとみさん「2番目は内気だったけど我慢強かった。歯医者さんでも診察椅子の上で頭からつま先まで全身ピンと硬直させながら耐えていました。その心（しん）の強さが手紙に出ています」

拡大写真



【今野大輔君の手紙】母の今野ひとみさん「タイムカプセルで校庭に埋めていました。津波の影響で泥が付いている。これを書いた時は同様に犠牲になった親友の同級生とけんかしていたようで仲直りを呼び掛けています」

拡大写真